

台湾前総統、30日に訪日・日本文化について講演

【台北 = 山田周平】台湾の李登輝前総統は23日、一部の日本メディアの取材に答え、30日から日本を訪問し、滞在中に日本文化などについて講演することを明らかにした。自らが日本統治時代に高等教育を受けたことを踏まえ「日本文化の精神性や自然との調和は国際的に見ても面白い。それを(現代の)日本の方にも分かってもらいたい」と語った。

李氏は6月9日までの日本滞在について「一生涯(足取りをたどりたいと)考えてきた(松尾芭蕉の俳諧紀行)『奥の細道』が目的」と説明。1日には台湾の民政長官を務めた明治・大正期の政治家、後藤新平ゆかりの賞の授与式で講演する。東北地方を回って国際教養大学(秋田市)で講演した後、7日には都内で最近のアジア情勢について再び講演するという。(07:01)

<http://www.nikkei.co.jp/news/kaigai/20070524AT2M2301F23052007.html>